



## 総力戦で臨んだ八代中体連陸上 一生徒全員が出場

9月15日、県営八代運動公園陸上競技場で八代中体連陸上競技大会が行われました。新型コロナウイルス感染防止のため3年ぶりの開催となったこの大会。歴史と伝統のある大会も今年が最後です。生徒たちにとっては最初で最後の大会となりました。

2日前の選手推戴式では、日奈久中は県中体連で女子優勝の実績があることや、本大会でも輝かしい成績を収めてきたことを話しました。また、『全員を選手として競技に出場させたい』との林田体育主任の思いを伝え、生徒全員が大会に出場し、競技することで先輩方が築いてこられた伝統を引き継ぎ、大会を終わらせようと激励しました。

本番では、伝統の赤いユニフォームを着て競技に臨みました。残暑が厳しい中、一人一人がベストを尽くし最後まで頑張ってくれました。自信をつけた生徒、調整がうまくいかず力を発揮できなかった生徒それぞれですが、一人の欠席者、棄権者もなく全校生徒が競技をやり遂げたことは、多くの学校が一部の選抜された選手・補助員で臨んでいることを考えると、なかなか実現できることではありません。大会を立派に締めくくることができたと思います。皆が最後の八代中体連陸上大会に出場したという誇りを持って、今後も体力向上に努めてもらいたいです。



## 全国学力学習状況調査の結果

4月19日に3年生を対象にした全国学力学習状況調査(全学調)が実施され、本校の状況が分かりました。全学調は、学習調査(本年度は国数理の学習定着状況)と生徒の意識や生活面等について調査する生徒質問紙があります。

学習調査においては、全国平均を上回る教科もありましたが、全体では全国平均をやや下回る結果となりました。生徒質問紙においては、「生活習慣・学習習慣」は全国平均を上回っている一方、「自己有用感」が全国平均を下回っており、課題であることが分かりました。

## 福祉体験学習を実施

9月9日に3年生を対象に福祉体験学習を行いました。目的は、高齢者や障がい者の方々の身体の不自由さを疑似体験することで、共生社会に必要な思いやりの態度や心情を養うことです。

八代市社会福祉協議会の方を講師としてお招きし、車いすに乗ったり、アイマスクや装具等を着用しながら疑似体験を行いました。学習を終えて、浅川寧音さんは、「高齢者や障がい者の方々は生活の中にたくさんの危険があるということに気づけました。特に目が見えないという状況を体験して、介助の人がいたとしても怖さはやっぱりあるのだから、高齢者や障がい者の方々など、困っている人がいたら、見て見ぬふりをせず、手助けをしていきたい。」と感想を綴っていました。



## 高校等説明会を実施

台風接近のため延期していた高校等説明会を、9月27日に実施しました。対象は3年生と2年生で、希望される保護者の方にもご参加いただきました。八代市内の高校を中心に10校から、学校の特色や学科、入試などについて分かりやすく説明してもらいました。説明会の内容を、将来の夢を実現するための進路選択として役立ててもらいたいです。



## イチゴの苗植えを体験

9月23日の秋分の日、生徒たちはイチゴの苗植えに汗を流しました。場所を提供していただいたのは、5月にイチゴ狩り体験をさせていただいた山下さん。感謝の気持ちを伝えようと、苗植えの呼びかけに21名の生徒が集まりました。山下さんから作業についての説明があったあと、生徒たちはおいしいイチゴができるよう、心を込めて苗植えに励みました。山下さんも喜んでおられました。また一つ、日奈久を愛する活動ができたことに感謝します。

